



低血糖症状にご注意ください

このお薬とほかの糖尿病の薬(血糖値を下げる薬)を併用した場合に、低血糖症状があらわれることがあります。とくに、**インスリン製剤やインスリンの分泌を促す薬(スルホニルウレア剤)との併用で、低血糖症状のリスクが高まるおそれがあります。**

▶ 低血糖症状とは？

低血糖症状は、空腹時に起こり、意識がある場合、食べ物をとると治ることがあります。血液中の糖分が少なくなりすぎた**危険な状態**で、以下のような症状があらわれます。ひどい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。

強い異常な空腹感、動悸、
冷汗、手足のふるえ、
力のぬけた感じ、眼のちらつき

頭痛、ぼんやり感、
強い疲労感、いつもと人柄が
違うような異常な行動

けいれん、昏睡、
意識消失



高所作業や自動車の運転など危険を伴う機械を操作しているときに、低血糖症状を起こすと事故につながります。とくに注意してください。

▶ 低血糖症状が起こったら？

- 軽いうちは糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとると治るので、低血糖症状があらわれた場合は、**がまんせずに早めに**糖分をとってください。したがって、**日頃から常に糖分を持ち歩き、その場ですぐ糖分をとれるように**しておくことが必要です。
- ただし、**α-グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)**などの糖分の吸収を遅らせる薬剤を併用している場合には、**必ずブドウ糖**をのんでください。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに医師に報告してください。

▶ 低血糖症状を起こさないために

- お薬の量やのみ方は医師の指導を守りましょう。
- 食事療法・運動療法はきちんと行いましょう。
- 食事時刻の遅れ、食事量または炭水化物の摂取が少ない食事、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

医療機関名

TEIJIN

帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社

RMP

(両面ともご覧ください)

医薬品

TDZ002-IF-2104
2021年4月作成